

		評価項目				
月	単元名・内容	配当時間	観点	特に重視する観点に◎(評価する観点に○)	主な判定基準(おおむね満足できる Bの基準)	主な評価方法
4	A 材料と加工に関する技術 ・ものづくりの工夫と進め方  5 材料と設計  6 練習教材を用いた作品の製作(ティッシュボックス製作)	13	知識・技能	◎	・材料による特性を理解する。 ・工具の工夫・改良を理解する。 ・構想図などを正確に描くことができる。また、人の描いた構想図を正確に理解できる。	・作品 ・定期考査 ・小テスト
7			思考・判断・表現	○	・構想図などから、立体を想像し、自分の作りたいものを考え、工夫することができる。 ・プリントやノートに板書の内容をきちんと書くことができる。	・設計図 ・プリント ・製作態度 ・作品 ・作業進捗
8			主体的に学習に取り組む態度	○	・先人たちの技術に対する思いを踏まえて、意欲的に製作に取り組もうとすることができる。 ・掃除等の後片付けができる	・観察法(教材準備、忘れ物) ・製作態度 ・提出物(ファイル、ノートなど)
9				◎	・加工法に適した工具を選択できる。 ・工具の使用方法、各部の名称などを理解できる。	・作品 ・定期考査 ・小テスト
10				思考・判断・表現	◎	・工具を使って効率よく作業をするためにはどのように、使用するればよいかを考え工夫することができる。 ・効率の良い作業手順を考え工夫する。自分の欲しい物の条件を考えられる。 ・プリントなどに板書だけでなく、授業内容などを詳しく書くことができる。 ・作品を丁寧に仕上げる。 ・自分の作品の良いところを人に伝えることができる。
11	A 材料と技術に関する技術 ・オリジナル木工作品の製作	16	主体的に学習に取り組む態度	○	・作品製作を通して、意欲的にもものづくりを行うことができる。 ・掃除等の後片付けができる。 ・決められた期日までに、課題を提出することができる。	・観察法(教材準備、忘れ物) ・製作態度 ・提出物(ファイル、ノートなど)
12			◎	・キーボードの特徴や文字の配置について理解することができる。 ・ソフトウェアの目的や特性に応じて、ソフトウェアの使い分けができる。 ・キーボードの文字配列の工夫を生かして、画面を見ずに素早く打ち込むことができる。 ・ソフトウェアの機能を活用し、表現豊かな文書を作成することができる。	・作業プリント(作業の記録を含む) ・作品 ・作業進捗 ・定期考査 ・小テスト(実技テストを含む)	
1			思考・判断・表現	○	・文字を入力するだけでなく様々な機能を上手に使うことができる。 ・基本操作の練習・習熟や活用に工夫を凝らすことができる。	・プリント ・製作態度(作業観察) ・作品
2	D 情報に関する技術 ○デジタル作品の製作 ・文書作成ソフトウェアの活用 ・表計算ソフトウェアの活用	6	知識・技能	◎	・キーボードの特徴や文字の配置について理解することができる。 ・ソフトウェアの目的や特性に応じて、ソフトウェアの使い分けができる。 ・キーボードの文字配列の工夫を生かして、画面を見ずに素早く打ち込むことができる。 ・ソフトウェアの機能を活用し、表現豊かな文書を作成することができる。	・作業プリント(作業の記録を含む) ・作品 ・作業進捗 ・定期考査 ・小テスト(実技テストを含む)
3			思考・判断・表現	○	・文字を入力するだけでなく様々な機能を上手に使うことができる。 ・基本操作の練習・習熟や活用に工夫を凝らすことができる。	・プリント ・製作態度(作業観察) ・作品
			主体的に学習に取り組む態度	◎	・コンピュータ教室の使い方が理解できる。 ・コンピュータそのものやソフトウェアを正しく理解し、様々な操作法によって使おうとしている。	・観察法(教材準備、忘れ物) ・製作態度 ・提出物(ファイル、ノートなど)